

メイクブランド「ディエム クルール」から 『カラーブレンドアイブローマルチパレット』誕生 色のレイヤードで立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉をつくる アイシャドウやハイライトとしても使えるカラフルアイブローパウダー

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川 美紀）は、メイクブランド「ディエム クルール」から、色のレイヤードで立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉をつくり、アイシャドウやハイライトとしても使えるカラフルアイブローパウダー『ディエム クルール カラーブレンドアイブローマルチパレット』（5g ¥4,620<税抜 ¥4,200>）を、2023年3月1日に発売します。

「ディエム クルール」ブランドは、“きれいな素肌はカラフル（適度に色のばらつきがある状態）である”ことを発見し、2018年に誕生。点描画の効果と色立体視の効果に着目した独自のカラートリック設計により、カラフルだからこそ実現できる、その人らしさを活かした自然で美しい仕上がりにこだわってきました。

今回、写実画家 三重野 慶 氏が描く、平面の絵でありながら本物のように見える眉を解析。立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉をつくるための2つの要素である「①眉毛1本1本が際立つ自然なカバー力」「②眉全体に存在する輝度コントラストによる立体感」を発見、本製品に応用しました。アイブローパウダーでありながら黒の顔料を配合せず、ブラウン、オレンジ、グリーン、モーヴピンクの4色を混ぜ合わせる「アイブローレイヤードカラートリック設計」により、簡単に、立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉へ仕上げるアイブローパウダーです。1品で、4色混合の<ブラウンアイブロー>や、単色使用での<カラーアイブロー>を描けるだけでなく、アイシャドウやハイライトとしてもご使用いただけます。肌や眉毛に密着し、化粧もち粉体配合でくずれにくい処方設計です。多様な価値観が存在する今、自分の中にある様々な個性を楽しんでほしいというブランドの想いから生まれたマルチパレットです。

全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約590店舗を含む約3,200店のポーラショップ、旗艦店「ポーラ ギンザ」、全国有名百貨店等ポーラコーナー67店舗（2021年末時点）、ポーラ公式オンラインストア（net.pola.co.jp）にてお取り扱いします。海外では、香港・台湾にて順次発売予定です。



2023年3月1日発売

ディエム クルール カラーブレンドアイブローマルチパレット

5g ¥4,620（税抜 ¥4,200） *チップ・ブラシ付き *無香料

ネーミング 「diem（今）」と「couleur（色）」を組み合わせた造語。
“色に触れることで、今をもっと心豊かに、もっと楽しく 生きる”
という意味を込めています。

デザイン ディエム クールのアイデンティティーであるカラフルさを引き立てる、上質で繊細なニュートラルカラーをパッケージに採用。自身の中でも日々移ろいゆく多様性や大人の知性を表す、普遍的でクリーンなデザイン。

diem couleur

メイクブランド「ディエム クルール」から 『カラーブレンドアイブローマルチパレット』誕生

色のレイヤードにより
立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉に
光と影をいかすカラートリックアイブロー

ブラウンアイブロー、カラーアイブローだけでなく
アイシャドウ、ハイライトとしてマルチに使えるパレット



2023年3月1日発売

ディエム クルール カラーブレンドアイブローマルチパレット

5g ¥4,620 (税抜 ¥4,200) *チップ・ブラシ付き *無香料

- 多色のレイヤードで立体感と抜け感のある眉へ
黒の顔料を使用せず多彩な色を重ねることで、自然な眉色を表現できることに着目。
●ブラウン、●オレンジ、●グリーン、●モーヴピンクの組み合わせにより、
単色では表現しえない、立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉を演出します。
- 1品でアイブロー、アイシャドウ、ハイライトとマルチに使えるパレット
4色を混ぜてブラウンアイブローとして、単色ではカラーアイブローとしてもアレンジ可能。
アイシャドウやハイライトとしても使用できる便利なマルチパレット。
- 密着感があり、化粧もち粉体配合で仕上がりが長持ち
肌や眉毛に密着し、汗・皮脂に強い粉体配合でくずれにくい処方設計。

ネーミング

「diem (今)」と「couleur (色)」を組み合わせた造語。
“色に触れることで、今をもっと心豊かに、もっと楽しく生きる”という意味を込めています。

デザイン

ディエム クールのアイデンティティーであるカラフルさを引き立てる、上質で繊細なニュートラルカラーをパッケージに採用。自身の中でも日々移ろいゆく多様性や大人の知性を表す、普遍的でクリーンなデザイン。

開発背景

ディエム クルールは、「きれいな素肌はカラフル（適度に色のばらつきがある状態）である」ことを発見し、2018年に誕生。点描画の効果と色立体視の効果に着目した独自のカラートリック設計により、カラフルだからこそ実現できる、その人らしさを活かした自然で美しい仕上がりにこだわってきました。

今回、写実画家 三重野 慶氏が描く自然な眉を解析・応用。多彩な色を混ぜ合わせるアイブローレイヤードカラートリック設計により、簡単に「立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉」へ仕上げるメイクを目指しました。多様な価値観が存在する今、自分の中にある様々な個性を楽しんでほしいというブランドの想いから、多様な使い方ができるマルチパレットが誕生しました。

新着目 写実画家 三重野 慶氏が油絵で描く「立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉」の秘密を解明

ディエム クルールが目指す「立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉」として、写実絵画の画家・三重野 慶氏が描く眉に着目しました。平面の絵でありながら本物のように自然に見える眉を画像解析した結果、

①眉毛1本1本が際立つ自然なカバー力 ②眉全体に存在する輝度コントラストによる立体感の2つの要素により成り立つことを解明しました。(補足資料1：三重野 慶氏が描く眉の画像解析(P4))



「思い出になる前に」



眉周辺を拡大



「言葉にする前のそのまま」ホキ美術館所蔵



眉周辺を拡大

新処方 多色設計 「アイブローレイヤードカラートリック設計」による「立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉」の実現

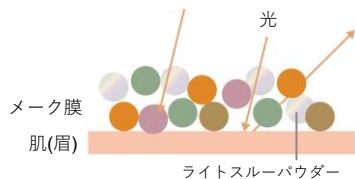
アイブローアイテムは塗り重ねると眉全体のカバー力が高まり、平面的で不自然な仕上がりになるため、立体感のある自然な眉を描くにはテクニックが必要でした。そこで、三重野氏の「黒の顔料を使わずに多色を重ねて眉を描く」という絵画技法をヒントに、通常配合される黒の顔料を配合せず、輝度に差のある多彩な4色を配置した「アイブローレイヤードカラートリック設計」により、簡単に「立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉」へ仕上げるアイブローを開発しました。(補足資料2：眉の仕上がり画像の比較(P4))

1本1本 際立たせる

黒の顔料を配合しない多色設計

〈イメージ図〉

黒の顔料を配合せず4色で仕上がり色を表現したアイブロー



光の透過性が向上し、塗り重ねても自然なカバー力が維持される

▶眉毛1本1本が引き立つ
自然なカバー力が生まれる

さらに、透過性を高める透明粉体「ライトスルーパウダー」を配合

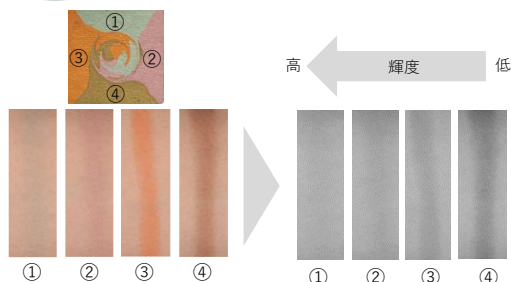


＜参考＞
黒の顔料を配合したアイブロー

塗り重ねると眉全体が均一に隠べいされる
▶平面的な仕上がりとなる

立体感をつくる

輝度に差のある4色を眉に展開



各色を前腕内側に塗布し撮影したカラー画像

高 ← 輝度 低

グレースケール画像に変換

▶輝度に差のある多色設計により眉上に輝度コントラストがつくれ視覚的な立体感が生まれる

ご使用方法

付属のブラシを使って、右側のアイブローカラーをやさしく混ぜて取り、眉にふわっとのせるだけで、簡単にナチュラルあか抜け印象眉に。ブラシは立たせずに寝かせて、大きなストロークでやさしく表面をなでるようにすると、なめらかに取れます。アイシャドウやハイライトとして使用する場合は、付属のチップをご使用ください。

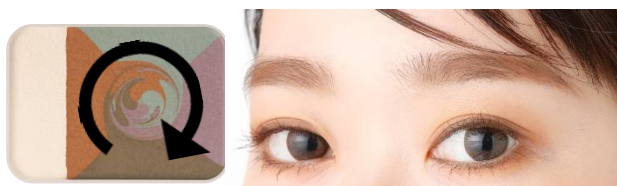


ブラウンアイブローとして

アイブローカラー4色を、ブラシで「ブラウン始まり、ブラウン終わり」で時計回りに混ぜ取り、ふんわりと乗せるとベーシックな明るめブラウンに。反時計回りに混ぜると暗めのブラウンになります。

眉への乗せ方は通常のアイブローパウダーと同様です。眉の中央部分～眉尻側にかけて描いたあとに、眉頭をふんわりと仕上げます。最後に全体のバランスを見て、眉尻の細かい部分を整えるとより自然なグラデーションになります。

時計回りにブラウン始まり、ブラウン終わり



混ぜとる方向を変えると暗めのブラウンに



反時計回りに
ブラウン始まり、ブラウン終わり

カラーアイブローとして

ブラシで取り終える場所を変えてニュアンスを出したり、

●オレンジ、●グリーン、●モーヴピンクをそれぞれ単色で使用することで、気分や好みに合わせたカラーのアイブローとしてご使用いただけます。

オレンジ眉

ブラウン始まり オレンジ 終わり



モーヴピンク眉

ブラウン始まり ピンク 終わり



アイシャドウとして



大チップで好みの色をアイカラーとして使用も可能。小チップで目の際に乗せればアイラインとしても。

ハイライトとして



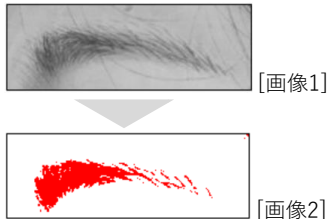
チップで左側のハイライトカラーを目頭や鼻筋に乗せてハイライトとして使用できます。まぶたの高いところに塗布すれば、目の立体感も演出。

[補足資料1：三重野慶氏が描く眉の画像解析]

三重野慶氏が描いた絵画の眉部分（RGBカラー画像）を抜粋し、画像解析ソフトImageJを用いて解析した。

色濃度に基づいた カバー力の解析

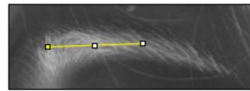
RGB画像から赤色の要素のみを抽出し、その濃淡を示すグレースケール画像 [画像1] を特定の濃度を境目として、色濃度が高い（カバーされている）部分を赤色で表示した [画像2]。



①毛流れを認識できる自然なカバー力により眉毛一本一本が際立つ



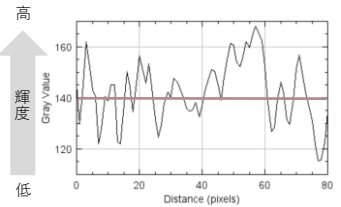
絵画の眉部分(RGB画像)を抜粋した解析用画像



眉上に引いた線上 [画像3]

輝度に基づいた 立体感の解析

RGB画像をグレースケール画像に変換し、白黒反転させた画像[画像3]に引いた線上における輝度の高低をグラフ化した。



②輝度値140を境界にして高低部分が眉上で繰り返され、輝度コントラストの存在により視覚的な立体感が生まれる

〈眉の見え方のイメージ図〉



コントラストあり
= 視覚的な立体感あり



コントラストなし
= 平面的

POLAイノベーションセンター調べ

[補足資料2：眉の仕上がり画像の比較]

新製品を塗り重ねた眉は、アイブローアイテム未使用の眉・自社従来品（単色アイブローアイテム）使用の眉と比較して、「①眉毛1本1本が際立つ自然なカバー力」「②眉全体に存在する輝度コントラストによる立体感」を持つ「立体感のあるナチュラルあか抜け印象眉」であることが分かりました。さらに、新製品を塗り重ねた眉は、三重野慶氏が描いた絵画と同等のカバー力・輝度コントラストを持つことも明らかとなりました。

アイブローアイテム未使用の眉(※1)

新製品(ディエム クルール)使用の眉(※1,2)

自社従来品(単色アイブローアイテム)使用の眉(※1,2)

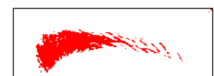
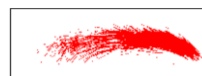
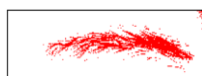
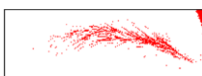
三重野慶氏が描いた絵画

RGB画像



①自然なカバー力の検証

補足資料1の画像2と同様の画像処理を行った。(全ての画像で等しい濃度を境目とした)



画像の面積(ピクセル数214×73)における赤色面積(カバー部分)の割合を算出した。

5.83%

カバー力が低い

12.12%

自然なカバー力がある

16.99%

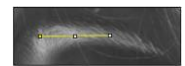
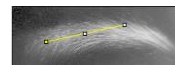
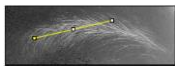
カバー力が高い
(平面的な仕上がり)

12.63%

自然なカバー力がある

②輝度コントラスト(立体感)の検証

補足資料1の画像3と同様に輝度の高低をグラフ化した。



高
輝度
Gray Value
低

コントラストが不明確

明確な輝度コントラストにより立体感がある

コントラストが不明確

明確な輝度コントラストにより立体感がある

※1：同一被験者の眉 ※2：同回数程度塗り重ねた

POLAイノベーションセンター調べ

diem couleur

主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分配合表示
保湿成分	パンテノール	パンテノール
	シードオイルコンプレックス	ホホバ種子油、マカデミア種子油、ヒマワリ種子油
メイクアップ 効果	ライトスルーパウダー	合成フルオロフロゴパイト
	化粧もち粉体	タルク、ジメチコン、ステアリン酸Mg
	密着感オイル	リンゴ酸ジイソステアリル



FAIRY JAPAN
POLA

ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム、新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA